

特集 他とかかわる力を育てる

24NCにおける語彙指導のあり方

望月正道 (麗澤大学)



24NCにおける語彙選定

英語学習において語彙の習得が重要であることは言うまでもありません。新学習指導要領では中学校での学習語彙を1200語へと大幅に増大させました。単語だけでもコミュニケーションが可能であることを考えると、学習語彙の増大により、生徒はコミュニケーションの幅を広げることができるようになるでしょう。それでは、実際にどのような語彙を教えたらいでしょうか。

中学校で教えるべき語彙は3種類あります。まず、どのような文脈であっても使用される頻度が高い高頻度語です。次に、頻度は低いが英語の授業では欠かせない、textbook, homework, blackboard, pencil, notebookのような語です。第3は、生徒の自己表現に欠かせない、家庭や学校での生活に密着した語です。have breakfast, brush one's teeth, play soccerのような生活や部活に関係する語彙になります。

24NCの語彙は、この3つの基準を参考にしつつ扱う語彙を選定しています。具体的には、British National CorpusのSpoken Corpusなどにおける頻度情報を参考に、高頻度語を選んでいます。英語授業に欠かせない語彙の選定には、6種類ある中学校英語検定教科書のコーパスで頻度の高い語彙を参考にしています。生徒の自己表現に必要な語彙は、スピーチ原稿をはじめ、中学生が書いた英文を元にした学習者コーパスを参考にしています。したがって、24NCで使われている語彙はどれも中学生にとって覚えるに値する重要なものと言えます。

24NCでは新出語をページの左側あるいは右側の

Words欄に提示しています。

2年生のLESSON 4 Get Part 2のWords欄(右)を見てみましょう。このWords欄から、このページでは5つの単語と1つの熟語が新出であることがわかります。新出語は3種類に分けることができます。最も重要な500語は、**grow**, **care**のように太字で示されています。次に重要な700語は、

vegetable, gardenのように普通の字体で提示されます。第3の種類は、中学校で学習する1200語には入らないもので、organic「有機農法の」のように日本語訳がついています。24NCで使用されている語はどれも重要ですが、その中でも重要性を3段階で示しているので、学習・指導の目安にすることができます。

語彙の上手な指導法

語彙指導では、単語は文脈の中で教えることが大切だとよく言われます。これは正しいことです。1つの単語を習得するとは、その語の発音・綴りと意味の結びつきに始まり、その語の文法的特性、同義語・反意語・類義語・派生語、コロケーション、スタイル、使用頻度など、多岐にわたる知識を得ることです。単語の知識に関わるこれらの情報は、その単語が使われる文脈からしか得られないものです。

しかし、効果的な語彙学習を考えると、最初から文脈の中で単語を提示して学習させることがよいとはかぎりません。1つの単語の多岐にわたる知識



Words

vegetable
[ˈvɛdʒ(ə)təbl]

garden
[ˈɡɑːrdn]

grow
[grəʊ]

care
[kɛə]

take care of ~

organic
[ɔːrɡæːnɪk]
有機農法の

は、1度で覚えられるものではありません。単語の習得過程は、最初に、発音と意味の結びつきという中核が学習され、その後その核に他のさまざまな情報が付加されていくという漸増的なものです。最初に発音と単語を結びつけるときには、単語の意味がわかるような状況を設定し、発音を聞かせ、その語を発音できるように教えることが大切です。この場合、文脈で練習する必要はありません。絵を示して1語ずつ発音する練習をしたあと、絵を指して単語が言えるかどうかのチェックを行います。いくつかの単語が言えるようになったあと、文脈の中でそれらの単語を提示し、練習させることになります。こうすることで、発音と意味の結びつきを核として、その周りに同義語・反意語、文法的特性、コロケーションなどの単語の知識が形成されていきます。

このように語彙指導の最初の段階では、単語の意味が確実にわかる状態で発音を聞かせ、意味と発音を結びつけさせることが大切です。最初から同義語や反意語と一緒に教えたり、意味のネットワークの中で提示したりする必要はありません。これらの知識は、発音と意味が生徒の中でしっかり結びついて定着したあとで与えるのがよいでしょう。

Word Corner を使った語彙指導

24NC では、自己表現の際に役に立つ単語を集めた Word Corner が新設されました。2年生 LESSON 5 GET Part 2 の Word Corner(下図)を使った語彙の指導法を見てみましょう。

Word Corner では、目標語の意味がイラストなどで示されています。イラストを示しながら、

This is a supermarket. のように導入します。supermarket だけをクラス全員でリピートさせたあと、数名にリピートさせます。同様に、残りの7語も導入します。イラストを指して、生徒が単語を発音できるかどうかをチェックします。

全員が発音できるようになったあとは、既習の There is / are 構文を使って、この8つの単語を練習します。たとえば、“There is two supermarkets near my house. Is there any supermarket near your house?” “Yes, there is a supermarket near my house. There isn't a hospital near my house. Is there any hospital near your house?” のような練習ができます。このように新出語の発音を受容的にも産出的にも行います。

ここまできちんと単語が学習できていれば、同ページにある言語活動 (Practice) は容易に取り組めるでしょう。1 Listen は、由紀、弘太、美穂のそれぞれが、自分たちの欲しいものはどこで手に入るか、スミス先生と話しているのを聞き取る活動です。これは、文脈の中で聞き取る練習になります。2 Speak では、単語を産出的に使う練習をします。この活動は、ただ単に言われたことや書かれたことを繰り返すのではなく、自分で考えて言う練習で、文型・語彙を定着させるよい方法です。3 Write では、2 Speak で話し合った内容の文を書くので、さらに定着につながるでしょう。

このように 24NC は、語彙の選定から学習方法まで、いろいろな工夫がなされています。実際の語彙指導に役立つものと確信しています。

Word Corner → 街中の施設

 supermarket	 convenience store	 hospital	 drugstore
 post office	 library	 bookstore	 restaurant

●例にならって言ってみよう。
 ㊦ There is a supermarket in my town.